

# 平成21年度臨時総会議案 第1号議案（審議）

## （イ）平成22年度事業計画（案）の件

平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

1. 日本映画テレビプロデューサー協会は、以下による催し物を主催者として開催し、積極的な事業運営を図りつつ、協会の更なる発展につとめる
  - イ. 「エランドール賞」の開催  
優れた映画作品とテレビ番組および出演者並びに制作関係者を顕彰し、映像文化の創造・発展・向上につとめる。
  - ロ. 「国際ドラマフェスティバル」への参加・協力  
日本における唯一の国際ドラマフェスティバルの運営をサポートし、ドラマの国際競争力を高める一助とする。また「プロデューサーズ・フェスタ」「ヒットメーカー」の催しとも連動を検討する。
  - ハ. 「プロデューサーズ・フェスタ」の開催  
映像制作に関わるプロデューサーの役割、向上を検証する。又、映像制作に関する継承者への指導教育と育成をはかる。
  - ニ. 「ザ・ヒットメーカー2010」の開催  
映像文化をはじめ各種の創作や芸術文化活動において顕著なエンターテインメントを創造したヒットメーカーを顕彰、受賞者によるシンポジウムを実施し、文化状況について調査研究を行う。
  - ホ. 「プロデューサーズ・カフェ」の実施  
協会会員の情報交流を深めるためのミーティングを開催する。
  - ヘ. 「アクターズセミナー」の開催  
俳優を発掘、育成するためのセミナーを開き具体的な指導を実施する。
2. 国際共同制作の環境整備と映像文化の国際交流のため「東京国際映画祭」と連携して積極的な支援活動を行う。
  3. 全国フィルムコミッションの活動を支援し、映画・テレビの製作環境の整備改善をはかり映像文化の発展につとめる。
  4. 映像関係団体と連携しつつ、「著作権研究会」を開催するなど、制作著作権の確立と擁護につとめる。
  5. 時代の変化に対応し、協会の活動状況を内外に周知するため会報発行と連動してホームページによる広報活動を更に推進する。
  6. 「日本アカデミー賞」「毎日映画コンクール」等、各種映像関連事業に委員を派遣するとともに積極的な支援活動を行う。
  7. 協会事業の記録保存のための資料の調査、収集を行う。
  8. 新会員加入による組織の活性化につとめ、会員の事業への参加と相互の交流をはかる。また、協賛会員の強化策を検討し具体化をはかる。
  9. 新しい公益法人移行認可の手続きに関し効率的に申請を行う。
  10. 事業収支の改善ならびに事務局業務の効率化と経費の削減をはかる。

一般会計予算書

<支出の部>

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘要
1 事業費	14,960,000	12,600,000	2,360,000	新合同催物・研究会費 内訳
新合同催物・研究会費	12,010,000	9,650,000	2,360,000	エランドール賞 5,000,000
手帳発行費	450,000	450,000	0	ドラマフェスタ 500,000
会報発行費	2,400,000	2,400,000	0	ヒットメーカー 400,000
広報費	100,000	100,000	0	カフェ 200,000
				アクター 150,000
2 総合研修費	350,000	350,000	0	事業人件費 2,700,000
著作権委員会	150,000	150,000	0	事業管理費 3,060,000
親睦委員会	100,000	100,000	0	
諸委員会	100,000	100,000	0	【合計】 12,010,000
3 管理費	7,156,000	9,505,000	-2,349,000	
給料手当	3,500,000	3,450,000	50,000	
福利厚生費	446,000	465,000	-19,000	
旅費交通費	150,000	150,000	0	
消耗品費	400,000	400,000	0	
印刷製本費	350,000	0	350,000	雑費より抽出
通信運搬費	200,000	250,000	-50,000	
水道光熱費	120,000	240,000	-120,000	
会議費	1,050,000	1,050,000	0	
賃借料	2,700,000	2,300,000	400,000	
租税公課	100,000	100,000	0	
管理諸費	1,000,000	550,000	450,000	一般社団移行経費含む
雑費	200,000	550,000	-350,000	製本費を抽出しました
事業費への振替	-3,060,000			消耗品以下の6カ月分
4 予備費	20,000	30,000	-10,000	
当期支出額(C)	22,486,000	22,485,000	1,000	
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額(B) - (C)	10,555,869	10,701,789	-145,920	

**(口)平成22年度収支予算書(案)の件  
平成22年度収支予算書総括表(案)**

自 平成22年4月1日 至平成23年3月31日

**<収入の部>**

科 目	一般会計	特別会計	予算合計	前年度予算額	増 減
1 基本財産運用収入	10,000	0	10,000	5,000	5,000
2 利息収入	0	10,000	10,000	5,000	5,000
3 会費・入会金収入	17,356,000	0	17,356,000	17,040,000	316,000
4 事業収入	4,820,000	0	4,820,000	5,020,000	-200,000
5 雑収入	300,000	0	300,000	420,000	-120,000
当期収入合計	22,486,000	10,000	22,496,000	22,490,000	6,000
前期繰越収支差額	10,555,869	5,260,084	15,815,953	16,466,873	-650,920
合 計	33,041,869	5,270,084	38,311,953	38,956,873	-644,920

**<支出の部>**

科 目	一般会計	特別会計	予算合計	前年度予算額	増 減
1 事業費	14,960,000	0	14,960,000	12,600,000	2,360,000
2 総合研修費	350,000	0	350,000	350,000	0
3 管理費	7,156,000	0	7,156,000	9,505,000	-2,349,000
4 顕彰事業費	0	500,000	500,000	500,000	0
5 予備費	20,000	10,000	30,000	40,000	-10,000
当期支出額	22,486,000	510,000	22,996,000	22,995,000	1,000
当期収支差額	0	-500,000	-500,000	-505,000	5,000
次期繰越収支差額	10,555,869	4,760,084	15,315,953	15,961,873	-645,920

# 平成22年度 収支予算書(案)

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

## 一般会計予算書

### <収入の部>

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 基本財産運用収入	10,000	5,000	5,000	
基本財産利息収入	10,000	5,000	5,000	
2 会費・入会金収入	17,356,000	17,040,000	316,000	
入会金収入	150,000	150,000	0	
正会員会費収入	11,806,000	11,640,000	166,000	12月末会員数より算出
賛助会員会費収入	4,200,000	4,200,000	0	
功労会員会費収入	1,200,000	1,050,000	150,000	15名増加の予定
3 事業収入	4,820,000	5,020,000	-200,000	
エランドール賞収入	2,500,000	2,300,000	200,000	
セミナー収入	650,000	1,000,000	-350,000	
会報発行収入	670,000	720,000	-50,000	
国際ドラマフェスタ収入	1,000,000	1,000,000	0	
4 雑収入	300,000	420,000	-120,000	
雑収入	300,000	420,000	-120,000	
当期収入合計(A)	22,486,000	22,485,000	1,000	
前期繰越収支差額	10,555,869	10,701,789	-145,920	平成20年度決算値(参考)
合 計(B)	33,041,869	33,186,789	-144,920	

## 特別会計(顕彰基金事業) 予算書(案)

### ＜収入の部＞ (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 利息収入	10,000	5,000	5,000	
当期収入合計(A)	10,000	5,000	5,000	
前期繰越収支差額	5,260,084	5,765,084	-505,000	
合計(B)	5,270,084	5,770,084	-500,000	

### ＜支出の部＞ (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 顕彰事業費	500,000	500,000	0	
2 予備費	10,000	10,000	0	
当期支出合計(C)	510,000	510,000	0	
当期収支差額(A)－(C)	-500,000	-505,000	5,000	
次期繰越収支差額(B)－(C)	4,760,084	5,260,084	-500,000	